

日本をいちばん知らないのは
日本人かもしれない。

《第3回》 日 本 文 化 塾

平成21年度 特別公開講座
〔芸術と鑑賞〕

●平成21年度テーマ
「舞う、語る、語る…精選上方芸能シリーズ」

春期講座(4～6月)
秋期講座(10～11月)
オプション講座



主催: 大阪樟蔭女子大学 共催: 財団法人 大阪21世紀協会

後援: 大阪府教育委員会・大阪市教育委員会・東大阪市教育委員会・樟蔭同窓会



平成21年度テーマ 「舞う、謡う、語る...精選上方芸能シリーズ」

欧米へホームステイして学んできた学生が、帰国後一様に言うのです。「いかに私が日本の伝統文化に無知だったのかを知らされました」と。

ホームステイ先で問われるのです。「能とはどういう芸能で何を表現するのか」「からだを着物でぐるぐる巻きにした舞踊家は表現の不自由を感じないのか」「文楽の音楽(義太夫節)を日本人はみんな理解できるのか」など、日本人や日本の文化に関心を持っている人たちだけに、高度な質問をされるのです。

ところが大方の日本人学生は答えられません。この日本文化塾の「日本をいちばん知らないのは日本人かもしれない」のコピーの意味は、そのことを指していたのです。学生だけではありません。社会人の多くも分かったようなつもりで、案外分かっていなかったのです。

伝統の日本文化を、それも「本物に触れる」ことで正しく理解しようと、今年で三年目を迎えた日本文化塾です。今年は、日本の伝統芸能の故郷ともいべき上方芸能に焦点を定め、「舞う、謡う、語る...精選上方芸能シリーズ」で上方芸能の精髓に触れていただくことにしました。

全体10回のうち春期の5回は「上方文化の舞と謡い」の芸能を、秋期の5回は「上方文化の語り」の芸能をお楽しみいただきます。

全10回とも、ご出演は活躍中のベストメンバーです。これが上方芸能だ、と言えるものばかりを順次鑑賞していただきます。上方で生まれ、あるいは育まれてきた芸能の醍醐味を堪能していただけるものと確信しています。

大勢のお越しをいただき、今年も盛況裡に始め、進められることを心から願っています。

日本文化塾顧問 木津川 計

長唄と舞踊
上方舞
女流義太夫
能
語り芝居
講談
浪曲
筑前琵琶
歌舞伎
文楽
狂言



木津川 計
雑誌「上方芸能」発行人
和歌山大学客員教授
日本文化塾顧問



関山和夫
佛教学名誉教授
文学博士
日本文化塾顧問



森西真弓
雑誌「上方芸能」編集代表
大阪樟蔭女子大学教授



柁屋寛次郎
(社)長唄協会関西支部
事務局長



藤間勲祐悟
(舞踊)



望月太八郎
(鳴物)



山村 若
舞踊家(山村流宗家)



山村 光
舞踊家(山村流)
(樟蔭出身)



竹本友香
女流義太夫演奏家



豊澤雛文
女流義太夫演奏家
(三味線)



豊澤源幸
女流義太夫演奏家
(三味線)



山本章弘
能楽観世流シテ方準職分
(財)山本能楽会理事長



南条好輝
俳優



三島ゆり子
俳優



旭堂南海
講談師
(撮影 熊谷武二)



菊地まどか
浪曲師



春野恵子
浪曲師



奥村旭翠
筑前琵琶演奏家
日本橋会大師範

(順不同)

〔上方文化の舞と謡い〕〔上方文化の語り〕

開催時間／各講座とも13:00～14:30

(学外で開催するオプション講座は開催時間が異なります)

春期
講座

〔上方文化の舞と謡い〕

●会場／小阪キャンパス

4月	18日(土)	講演	演題＝「粋(いき)の美意識はなぜ衰弱したのか」 講師＝木津川 計
5月	16日(土)	長唄と舞踊	演目＝「島の千歳(しまのせんざい)」、長唄の代表的旋律をメドレーで披露 解説＝杵屋寛次郎(社団法人 長唄協会関西支部事務局長) 実演＝杵屋寛次郎・杵屋浩基・杵屋宣三(三味線)、芳村伊四太郎(唄)、望月太八一郎・中村寿慶・藤舎悦芳・藤舎華生(鳴物)、藤間勘祐悟(舞踊)
	23日(土)	上方舞	演目＝「浦島(うらしま)」山村 若、「ゆき」山村 光 解説＝森西真弓 実演＝山村 若(舞踊家・山村流宗家)、山村 光(舞踊家・山村流)
	30日(土)	女流義太夫	演目＝「壺坂観音霊験記(つばさかかんのんれいげんき)」 解説＝森西真弓 実演＝竹本友香(女流義太夫演奏家)、豊澤雛文・豊澤源幸同(三味線)
6月	6日(土)	能	演目＝「羽衣(はごろも)」 解説・実演＝山本章弘(能楽観世流シテ方準職分・財団法人 山本能楽会理事長)

秋期
講座

〔上方文化の語り〕

●会場／小阪キャンパス

10月	10日(土)	講演	演題＝「日本の話芸・語り芸」 講師＝関山和夫
	17日(土)	語り芝居	演目＝「大経師昔暦(だいきょうじむかしごよみ)」 解説＝木津川 計 実演＝南条好輝(俳優)、三島ゆり子(俳優)
	31日(土)	講談	演目＝「河内若江の戦い(木村重成の最期)」(『難波戦記』より) 解説＝木津川 計 実演＝旭堂南海(講談師)
11月	14日(土)	浪曲	演目＝「あ～吉岡先生」菊地まどか、「番町皿屋敷～お菊と播磨」春野恵子 解説＝木津川 計 実演＝菊地まどか(浪曲師)、虹 友美 同(三味線)、春野恵子(浪曲師)、沢村さくら 同(三味線)
	21日(土)	筑前琵琶	演目＝「敦盛(あつもり)」、「壇の浦(だんのうら)」 解説＝森西真弓 実演＝奥村旭翠(筑前琵琶演奏家・日本橋会大師範)

オプション
講座

●学外での別会場

4月	25日(土)	歌舞伎鑑賞教室	演目＝「京鹿子娘道成寺(きょうがのこむすめどうじょうじ)」 解説＝「南座と歌舞伎」桂 九雀(落語家) 実演＝上村吉弥(歌舞伎俳優) ■会場「京都四條南座」開催時間:14:30～16:05(予定)
6月	13日(土)	文楽鑑賞教室	演目＝「二人三番叟(ににんさんぱそう)」、「傾城恋飛脚(けいせいこいびきゃく)」新口村の段 解説＝「文楽へようこそ」 ■会場「国立文楽劇場」開催時間:14:00～16:15(予定)
10月	21日(水)	東西狂言会	解説＝木村正雄(大蔵流狂言師・大阪樟蔭女子大学客員教授) 実演＝大蔵流狂言師、和泉流狂言師 ■会場「東大阪市市民会館」開催時間:18:00～20:30(予定)

※講演者の都合により内容が変更される場合があります。あらかじめご了承ください。(敬称略)

はほたけ、知性。



大阪樟蔭女子大学

KOSAKA Campus 〒577-8550 東大阪市菱屋西 4-2-26 (小阪キャンパス) TEL.06-6723-8237 FAX.06-6723-8348
URL <http://www.osaka-shoin.ac.jp>